

## NP0ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会

## ピアっ子通信 in ひょうご

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学高田昌代研究室内

Tel&amp;Fax 078 (794) 8077 E-mail peer\_hyogo@yahoo.co.jp http://www.geocities.co.jp/peer\_hyogo/

## 2011年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催

思春期ピアカウンセリングとピアエデュケーションはともに、思春期ヘルスプロモーションの方策であり、若者が自分自身で人生のゴールを見つけ、それを生き生きと実現しようとしていく力を育てる健康教育手法である。

その能力とは、自分やパートナーの人生設計を壊さないように、性=生に関する意識や行動を自分で決められる能力のことをいい、性=生の自己決定能力と呼ぶ。



第8回目となる思春期ピアカウンセラー養成講座を6月に開催しました。

18日・19日・25日・26日の4日間に宿泊研修を含む30時間の研修を実施しました。

今年度は、神戸市看護大学、関西福祉大学、公立八鹿病院看護専門学校、県立柏原看護専門学校、京都橘大学の5校から37人の若者たちが集まりました。

今年は宿泊研修を初めて、神戸市北区にある神戸しあわせの村野外活動センターあおぞらで行いました。

大勢の若者が、熱心に講義を受講し、先輩ピアっ子の協力を得ながら、積極的に演習に参加し、学びを深めました。

第8期ピアっ子たちの活躍を期待します。

## 目次：

花時計ギャラリーで展示 2

思春期ピアカウンセリング関係者研修会 2

日本思春期学会で発表 2

2010年度活動実績 3

兵庫県におけるデートDV防止の取り組み 4

メッセージ 4

## 新ピアっ子の感想・抱負

受講後のアンケートに記された新ピアっ子の数多い感想や抱負の中から一部を紹介しします。

「ピアの講座は全体に話しやすい雰囲気の中で自分の思いを安心して話すことができた。」「劇を入れたり、身近な出来事からいろいろ考えて、知る、気づける、そしてもっと興味をもつ、疑問をぶつけられる、そういうこの機会に参加できて本当によかった。」「ピアの養成講座を通して、自分に自信が持てた。」「グ

ループ発表は大変だったけどやり遂げられて感動した。」「高校生や思春期の子の目線になったり、相手の感情を考えたり日頃そんなことを考えて生活してなかった。でも、今回のピアで大切なことをたくさん学べた。日頃の生活でも活用できると感じた。」「ピアとしての仲間意識ができ終わりをさみしく感じた。」「参加してみて他の参加者や先輩ピアのみなさんとも沢山お話しができて楽しかったし、今後一緒に活動していきたいと思った。」

## 花時計ギャラリーで展示



花時計ギャラリーに  
思春期ピアカウンセリング  
について展示

8月11日（木）から24日（水）までの2週間、神戸市中央区の花時計ギャラリーで思春期ピアカウンセリング活動に関する展示を行いました。

花時計ギャラリーは、三宮の地下街から神戸市役所方面に向かう、比較的通行量の多い通路にあります。

展示物はピアっ子たちが手作りで作りました。思春期ピアカウンセリングの概要、養成講座、アンドロギュノスの話、ピアサポートルームの案内、全国大会・全国同時ピアや海外の関係者との交流など思春期ピアカウンセリングの広がりなどを模造紙にまとめました。写真や絵を多く用いて、思

春期ピアカウンセリングについて知ってほしいことを表現しました。

今後も機会をとらえて、このような思春期ピアカウンセリングのPR活動を続けていきたいと考えています。



## 思春期ピアカウンセリング関係者研修会



思春期保健関係者と  
ピアっ子がグループワークを実施

10月1日（土）に思春期ピアカウンセリング関係者研修会を神戸市中央区の神戸国際会館で、「ひとは何故薬物依存に落ちるのか？」をテーマに開催しました。思春期保健関係者とピアっ子27人が参加しました。

午前中は、話題提供として、まず、神戸市保健所の東方裕嗣氏より「薬物乱用問題の現状」についてご説明いただきました。次に、兵庫県立光風病院臨床心理士の中谷恭子氏より、「ひとは何故薬物依存に落ちるのか？」について、自己肯定感の低さが背景にあ

る依存の機序をわかりやすくお話くださった後、豊富な臨床経験の中から、いくつも実例をご紹介いただきました。

お二人のお話から、薬物依存は、決して特別なことではなく、誰でもが関わる可能性のある身近な健康問題ということがわかりました。

午後は、グループに分かれ、思春期ピアカウンセリングで薬物依存について取り組むならどのような方法があるかを、ピアっ子も交えて話し合いました。

## 第30回日本思春期学会で発表



ネゴシエイトの実習  
～養成講座の発表から～

8月26日（金）～28日（日）に福岡市で開催された第30回日本思春期学会で、第4期ピアっ子の佐藤由衣さん（大阪府枚方保健所保健師）が「高校生のピアエデュケーションに関する研究～生と性の意識の変化～」をテーマに発表しました。ピアエデュケーションの受講前後にアンケートを取り、男女別に意識の変化をみました。

今回の調査結果から、ピアエデュケーションは、自分を大切にするという概念的なことより、具体的な内容がイメージできた交際に関する項目の変化に有効であると考えられます。

ピアプレッシャーやネゴシエイトは、女子にとって、相手に流されず、自分の考えを大切にするを考える

きっかけになったと考えられます。

男子はセックスをする際に性的快楽を求め、リスクを考えない傾向にありますが、ピアエデュケーションの受講は、自分や相手の体について考えるきっかけになったと考えられます。

ネゴシエイトは、セックスの際に相手のことを考えたり、自分の気持ちを相手に伝えるといった点で、男女共に有意差が見られたことから、男女共に効果的だったと考えられます。

ピアエデュケーションは、思春期の男女の性の意識に影響しており、ピアカウンセリングのように自己決定を支える場面は少ないですが、多くの気づきとしての効果があるということが分かりました。



# ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会 2010年度活動実績

## ピアカウンセラーの養成および関係者研修会の開催

第7回思春期ピアカウンセラー養成講座を神戸市看護大学ほかで開催しました。ベーシック講座は2010年6月12日・13日・19日・20日に行い、27人が修了しました。そして、実践経験を踏まえ、2011年2月19日・20日にフォローアップ講座を行いました。

思春期ピアカウンセリング関係者研修会は、2010年12月4日に神戸市中央区の神戸市勤労会館で開催しまし

た。

「思春期の性的マイノリティを考える」をテーマに、神戸市看護大学の藤井ひろみさんとLGBTの家族と友人をつなぐ会の3人の皆さんを講師にお招きし、思春期ピアカウンセリング関係者およびピアっ子約30人の参加がありました。講義とグループワークによって、深く学ぶことができました。



大学祭でのピア活動

## ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援

ピアっ子たちの実践活動は、少人数グループを対象としたピアカウンセリング、多数を対象としたピアエデュケーションおよび啓発を目的としたデモンストレーションに分かれます。

2010年度は、ピアカウンセリングを93回、ピアエデュケーションを1回、デモンストレーションを8回、合計102回の活動を行いました。実施場所は、高校9校、中学校5校、その他11か所でした。延べ参加者は約2,648人になり、ピアっ子の延べ参加数は481人にのびります。

今年度は、デートDVをテーマに盛り込んだり、数人でのピアカウンセリングを実施したりと新しいことに取り組みました。また、日本スポーツとジェンダー学会（7月4日）やユースアドバイザー養成講座（1月21日）でデモンストレーションをしたり、全国同時ピア（11月27日）に参加して街頭活動をしたりとPRにも力を入れました。

### 【ピアエデュケーション実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
播磨南中学校	1～3年生 461人, 1回	6人

### 【ピアカウンセリング実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
ピアルーム・柏原/丹波の森公苑	地域の高校生 17人, 11回	延36人
ピアサポートルーム三宮	延57人, 12回	延85人
ピアサポートルーム名谷	延61人, 12回	延65人
神戸市看護大学	40人, 5回	延17人
関西福祉大学	7人, 1回	4人
柏原看護専門学校	1～3年生, 67人, 3回	18人
甲南女子大学	4回生6人, 1回	4人
柏原高校	20人, 1回	10人
神戸市立盲学校高等部	6人, 2回	延6人
神戸市立須磨翔風高校	1年生延960人 24回	延72人
篠山産業高校	120人, 3回	14人
篠山産業高校東雲校	1～3年生, 98人, 1回	9人
篠山産業高校丹南校	26人, 1回	7人
但馬農業高校	1年生90人, 3回	15人
伊川谷北高校	3人, 1回	3人
明石商業高校	3年生2人, 1回	1人
丹波市立和田中学校	2～3年生118人, 2回	延22人
滝川第二中学校	3年生80人, 2回	8人
洲浜中学校	2年生66人, 2回	6人
津名中学校	3年生139人, 4回	12人



高校でのピア活動



全国同時ピア  
～ in 丹波市 ～

## 兵庫県におけるデートDV防止の取り組み

兵庫県におけるデートDV防止の取り組みについて、兵庫県健康福祉部こども児童課の山本さんから情報提供をいただきました。

配偶者等からの暴力（DV）については、既に社会的な問題として認識されていますが、近年では配偶者間のみならず、若年層の男女間における交際相手からの暴力（デートDV）についても、同様に注目を集めるようになってきています。その背景としては、若年層においても、暴力の問題が身近に存在しているためと考えられています。

県では、デートDVの防止を図るため、若年層を対象に、交際相手からの暴力の問題について考える機会を提供し、正しい知識を得、理解を深めるため、大学生等を対象に講座を開催する「大学生等に対するデートDV防止出前講座業務」を平成22年度から実施しています。

実施にあたっては、DV被害者支援活動を行っている民間支援団体を含め、広く民間が業務内容に係る提案を募り、優良な提案を行った団体を実施団体として委託することとし、平成22年度においては2団体が出前講座を実施しました。

平成22年度の実施状況は、平成22年9月から平成23年3月の間に、40講座を開催しました。開催場所

の内訳は、大学25、専門学校5、高等学校10で、計2,070名の学生の参加を得ました。各講座は1～2時間程度で、内容は、DVの基礎知識や現状等に関する講義に加え、寸劇やロールプレイを取り入れるなど、どのような関係がDVに当たるのか、また、受講者自身がこれまで交際相手とどのように接してきたかを身近に感じてもらえるよう、各団体において趣向を凝らしたものとなっています。

講座終了後に実施したアンケートでは、男子の25%、女子の34%が周囲でデートDVを見聞きしたことがある一方、受講前は男女ともに半数以上がデートDVについて理解していなかったと回答しており、若い世代においても、デートDVの問題が身近に存在している実態があるにも関わらず、一般的な理解の不足が生じていることが分かります。また、男女ともに90%以上が受講してよかった、また、男子の60%、女子の75%が今後もこのような講座を受講したいと回答しており、多くの受講者が前向きに理解に努めようとしていることが分かります。

このような結果を踏まえ、県では更なる啓発が必要との認識から、平成23年度も事業を継続し実施しています。

兵庫県健康福祉部子ども児童課

電話 078-341-7711（代）内線2983

## めっせーじ

今年もニュースレターをお届けする季節がやってきました。

思春期ピアカウンセラー養成講座も今年で第8回目を迎えることができました。養成講座からピアカウンセラーとなったピアっ子たちが様々な場面で活動しております。

ピアっ子たちの活動を支援くださいます皆様に感謝申し上げます。

今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(K.S)

## 会計報告

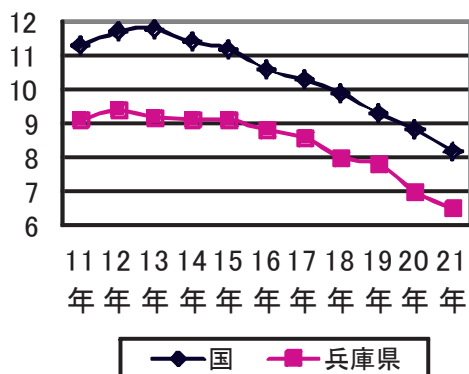
### 2010年度会計報告

(単位：円)

収 入	2,742,099
支 出	2,822,540
当期収支差額	△ 80,441
前期繰越金	97,558
次期繰越金	17,117

ピアっ子たちが活動するためには、地域の理解、環境整備、大人世代のバックアップは必須です。教育、医療、地域保健の関係者などたくさんの皆さんとともに力を合わせ、思春期の若者の性と生を支えたいと考えています。どうぞこの研究会にご参加ください。 年会費 個人会員3000円 団体会員1口10000円

人工妊娠中絶実施率  
(15歳以上50歳未満女子人口千人対)



15～19歳の定点観測による性感染症の件数  
(兵庫県及び神戸市)

